

川が汚れています！きれいな川をとりもどそう

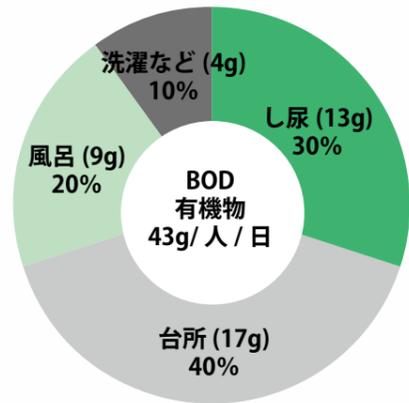
私たちは、毎日の生活の中で、たくさんのお水を使用し、生活排水を出しています。

そして、その生活排水は、下水道、浄化槽などを通じて川や湖沼そして海へと流れていきます。

しかし、汚水のままの状態では、川や湖に放流されると、水の汚濁が進み、魚が住めなくなり、やがて美しく豊かな自然が破壊されてしまいます。貴重な水を汚す大きな原因の一つは生活排水です。

大切な自然環境を守り、生活環境を保全するためにも、汚水を流さないよう皆さんで心がけ、きれいな川をとりもどすようご協力をお願いします。

■日常生活から出る有機物の割合



私たちの生活から、毎日どのくらい有機物がでているの？

私たちの日常生活から出る有機物は一人一日あたり43gといわれています。そのうち70%は生活雑排水(台所、風呂、洗濯など)です。

台所からは、どれだけの有機物がでているの？

生活排水の中で、台所の排水は全体の40%を占めており、主に油が汚濁の原因となっています。なげなく流しているものが、大

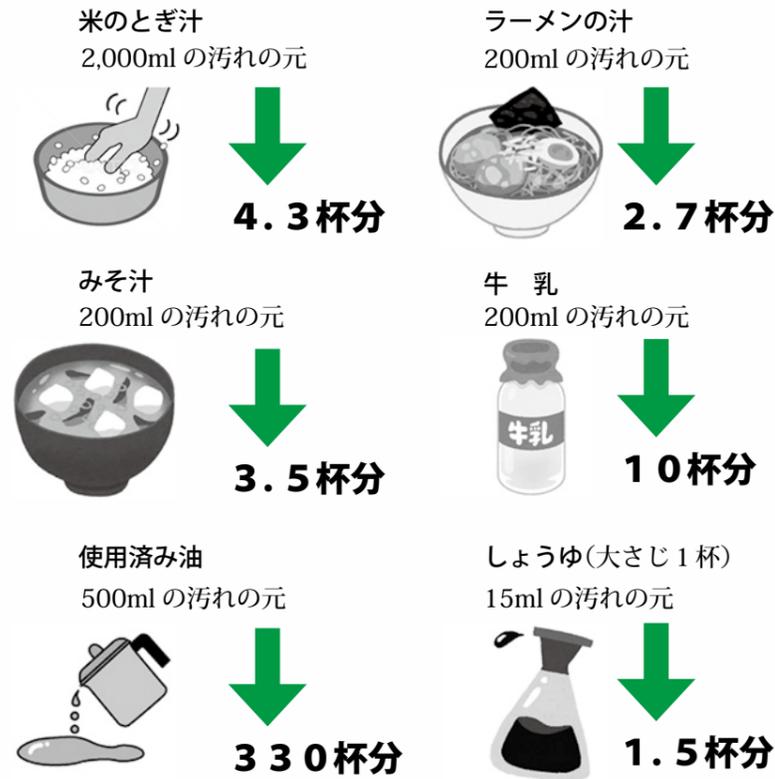
な川をこんなに汚しています。魚が住めるような水質は一般的にBOD値が5mg/l以下といわれています。魚が住めるような水質をとりもどすには皆さんの水が必要となります。

川を汚さないために今日からできること

- 調理くずや食べ残しは、水切り袋と三角コーナーを利用して、細かいごみをキャッチして流さないように努めましょう。
- 食事や飲み物は、必要な分だけつくり、食べ残しを出さないように努めましょう。
- 食器などについた油污は、紙などで拭いてから洗うように努めましょう。
- 残った油は、継ぎ足して使用したり、凝固剤で固めるなどして可燃ごみとして出すように努めましょう。
- 米のとぎ汁は、流さないで庭木や畑にまくように努めましょう。
- お風呂の残り湯は、洗濯や清掃に再利用するように努めましょう。
- 浄化槽を設置している家庭では、浄化槽の機能を十分發揮させるためにも、保守点検・清掃・法定検査を実施しましょう。

日常生活の汚れはどれくらい！

『魚が住める水質にもどす水の量を浴槽(300ℓ)に換算すると』



市内の河川水質検査結果を公表します

市では、毎年市内の主要河川を対象に水質調査を行っています。過去10年間の水質の移り変わりをみると、その年によって多少のばらつきはあるものの、ほとんど水質に変化は見られません。今年2月に実施した水質検査結果は、次のとおりです。

【用語説明】

※1 PH(水素イオン濃度指数) 酸性、アルカリ性を示す指標となるものです。7が中性とされ、7未満で酸性、7を超えるとアルカリ性となります。

※2 BOD(生物化学的酸素要求量) 水中の有機汚濁物質を分解するために微生物が必要とする酸素の量のことです。値が大きいほど汚れているということになります。

※3 SS(浮遊物質量) 水中にけんたくしている直径2mm以下の不溶性の粒子物質のことです。水の濁りの原因となるほか、太陽光線の透過を妨げ、水中生物に悪影響を与えます。

※4 DO(溶存酸素量)

水に溶解している酸素の量を示します。水生生物の生息に必要であり、数値が大きいほど水生生物の生息において良好な環境といえます。

※5 大腸菌群数

水中に存在する大腸菌群の数のことです。

※6 全窒素

水中の富栄養化の指標として用いられています。窒素は、植物の生育に不可欠なものです。大量な窒素が水中にあると富栄養化が進み、植物プランクトンの異常増殖を引き起こすとみられています。

※7 全リン

中の富栄養化の指標として用いられています。リンは、窒素と同様に植物の生育に不可欠なものです。大量のリンが水中にあると富栄養化が進み、植物プランクトンの異常増殖を引き起こすとみられています。

■表1 水質調査結果

項目	水温	PH ^{※1}	BOD ^{※2}	SS ^{※3}	DO ^{※4}	大腸菌群数 ^{※5}	全窒素 ^{※6}	全リン ^{※7}	
桂川	境・境橋上	10.7	8.0	0.5未満	0.6	10.0	790	1.10	0.150
	田原・合流点上	9.8	7.9	0.8	2.0	10.0	1100	1.50	0.160
	下谷・院辺橋合流点上	8.7	8.0	0.6	1.8	11.0	4900	1.30	0.180
鹿留川	沖・足田川橋	5.4	7.7	0.5未満	0.5未満	12.0	3500	0.52	0.012
	古渡・おなん淵上	7.3	7.9	0.5未満	0.5未満	11.0	16000	0.74	0.065
菅野川	菅野・人家はずれ	5.5	7.7	0.5未満	0.5未満	12.0	17	0.46	0.005未満
	大津・熊井戸取水口	6.3	7.8	0.5未満	0.8	12.0	1600	0.51	0.014
	玉川・合流点上	5.3	7.7	0.8	0.5未満	12.0	13000	0.97	0.062
家中川	九鬼・合流点上	9.0	7.8	0.5未満	1.8	11.0	4900	1.10	0.042
	田原・田原神社横	9.8	7.9	0.8	1.2	11.0	3500	1.20	0.160
	上谷・市役所前	11.3	8.0	0.8	2.0	10.0	5400	1.20	0.170
大幡川	四日市場・信号横	11.9	7.8	2.9	4.8	9.8	35000	1.80	0.260
	下大幡・大門取水口	6.6	7.6	0.5未満	0.5未満	12.0	790	0.6	0.010
戸沢川	金井・合流点上	7.3	7.8	0.6	1.4	12.0	9200	1.00	0.058
	上戸沢・せせらぎ荘上	5.8	7.7	0.5未満	0.5未満	12.0	45	0.31	0.021
朝日川	玉川・合流点上	7.4	7.7	0.6	1.4	11.0	540	0.62	0.039
	朝日曾雌・合流点上	7.5	7.8	0.5未満	0.5未満	11.0	33	0.5	0.024
柄杓流川	井倉・合流点上	10.5	7.6	0.5未満	1.8	10.0	540	0.89	0.035
	上夏狩・湯の沢橋	10.1	8.0	0.7	2.4	10.0	920	1.40	0.160
桂川	十日市場・合流点上	10.0	8.0	0.6	2.2	11.0	3300	1.20	0.170
	田野倉・桂川大橋下	9.1	8.0	0.6	1.2	11.0	3300	1.20	0.110
寺川	下谷・都留インター線起点横	8.9	7.4	10.0	2.8	8.6	28000	4.00	0.510
中川	中谷・家中川合流点	11.2	7.8	2.4	2.8	9.5	92000	1.50	0.220

■表2 「生活環境の保全に関する環境基準」に定める河川の類型別基準値

類型	PH	BOD	SS	DO	大腸菌群数	類型	全窒素	全リン
AA	6.5以上、8.5以下	1mg/l以下	25mg/l以下	7.5mg/l以上	50MPN/100ml以下	I	0.1mg/l以下	0.005mg/l以下
A	6.5以上、8.5以下	2mg/l以下	25mg/l以下	7.5mg/l以上	1,000MPN/100ml以下	II	0.2mg/l以下	0.01mg/l以下
B	6.5以上、8.5以下	3mg/l以下	25mg/l以下	5.0mg/l以上	5,000MPN/100ml以下	III	0.4mg/l以下	0.03mg/l以下
C	6.5以上、8.5以下	5mg/l以下	50mg/l以下	5.0mg/l以上	—	IV	0.6mg/l以下	0.05mg/l以下
D	6.0以上、8.5以下	8mg/l以下	100mg/l以下	2.0mg/l以上	—	V	1.0mg/l以下	0.1mg/l以下